

広 瀬 ゼ ミ

広瀬ゼミでは、日常生活にコンピュータが関わる比率がどんどん大きくなって来ています。何を食べるか、など今ではどんなことでも電子情報機器に頼ることができ、下手すると、一日のほとんどをコンピュータの指示に従って過ごすことになっているかもしれません。実際にはコンピュータがそのような結論を導いているのではなく、そのシステムを売り込む団体がうまく顧客をコントロールしているのです。言い換えれば、コンピュータという召使を上手に作り上げ、消費者の経済活動を巧みに操っているわけです。生活が便利になったりするという恩恵も多大ですが、ときに無用な負担を強いられる結果もあります。

いま、これまで見過ごされてきた消費者への無用な負担を是正しようという動きが大きくなっています。コンピュータそのものは知恵をもって、人間が知恵を与えて初めて便利に働くものだ、ということを明確に意識して向き合えば、こんなに楽しい「オモチャ」はありません。我が専門演習では、情報化がどんどん進むこの時代を生き抜くために、コンピュータの動きを自分がコントロールする方法を学び、楽しく使いこなす力をつけることを皆で目指しています。

ゼミ生紹介

- 4 年次 池澤梨恵
三浦彰人
3 年次 井上和也
川井俊輝
今野雅士
高橋貴宏
戸澤翔平
福田陽子

楽しい夏合宿風景



年間行事

- 1 2 月 忘年会（新入生と一緒に）
1 月 卒論・プチ論提出
2 月 研究発表（3・4年生）
4 月 新入生歓迎会
7 月 広瀬・西村・神田ゼミ合同中間発表
8 月 合宿
1 0 月 芋煮会 公翔祭出展
1 1 月 ソフトボール大会出場



研究発表会直前の様子。念入りの練習を繰り返し替えて本番に望みます。緊張する～。

研究活動内容

年間を通して、4年生は自分が選んだテーマで卒業研究を進め卒論にまとめることを目指します。3年生は卒業研究を行なうための土台となる知識を得るための自主学習を進め「プチ論」としてまとめることを目指します。それらと並行して、メンバー全員で共通の話題を選んで輪講形式で学習しています。今年の前期輪講テーマは「Dom Script」です。



合宿にての1コマ。子供達とのふれあいでメンバーも童心に帰ります。

研究テーマ紹介

池澤梨恵

三浦彰人

インターネットなどの既存ネットワークの上に、新たに暗号化され、ユーザが認証された仮想的なネットワークを作成し、安全な通信を行うための技術について研究しています。現在はその中でも、学生証などのICカードを認証デバイスとして利用するなどの不正利用対策について、また、このネットワークをいかに簡単にユーザが利用できるものとするかについてが主な課題としています。

井上和也

私はGPS機能とそれを利用した移動経路プログラムの開発を目指しています。携帯電話など身近な道具のGPS機能により取得された位置情報をもとに、受信者がどこからどこへどう移動したかを経路を地図に表示させるプログラムを自分の手で開発することを目指しています。

川井俊輝

私は麻雀プログラムを作成しています。麻雀ではあと1枚で「あがり」の状態になることを聴牌（テンパイ）といい、いくつもの形がある場合があるので、このいくつかの聴牌形を正確に見つけるプログラムを作成しています。他にも麻雀の様々な機能をプログラムとして作成しています。

今野雅士

パソコンの使用が必須となってきた現代にて、必ず耳にするのがウイルスという存在であり、家電量販店ではウイルス対策ソフトが並んでいる。各ウイルスごとの働きを調べ、表に示しつつ、ウイルスフリーの環境には何が必要かを研究しています。

高橋貴宏

通信量などを制御する装置を「IPFW」というツールを使用して再現することを勉強しています。これにより、学内ネットのようなローカルネットワークを経由した環境で、ファイル共有やP2Pの通信方式を使用されても他の人の通信を圧迫しないような環境の構築を目標に研究しています。

戸澤翔平

大量の卒業論文をデータベースに格納し、学生が研究室を決めるとき、卒業論文のテーマを決めるときに参考になるデータベースシステムの研究・開発を行っています。データベースとは、大量のデータを格納し、容易に検索、抽出、管理ができるものです。



滝を目の前にしての1シーン。心が洗われる面々であった。落ち着きますな～。